

佐久大学大学院 看護学研究科

修士論文コース プライマリケア看護コース

大学院への進学を
考えてみませんか？



研究科長からのメッセージ

坂江 千寿子



佐久大学大学院看護学研究科では、実践経験の中で生まれる解決困難な課題や現状に疑問をもつ人が、自ら解明する研究プロセスを通して論理的な思考力、研究力を身につけることを支援します。修了生は、看護管理者、臨床看護師、看護教育者として、視点を転換し幅広く活躍し貢献しています。

ぜひ、チャレンジしてみてください。看護を変えるために、あなたを歓迎します！

3つの特徴

1. 学修ニーズに対応する2コースを開設。高度な学びとキャリアアップに対応します

院生一人ひとりが持つ疑問や関心に基づいて課題を研究する「修士論文コース」と、診療看護師（NP）を目指す「プライマリケア看護コース」があります。一定の要件を満たした人が学べる科目等履修生の制度もあります。

2. 少人数体制での手厚い指導。3～4年かけて学べる長期履修制度もあります

院生1名につき指導教員が2名の手厚い教員体制を用意。働きながら学ぶ院生のために、授業の曜日や時間の相談に応じます。2年間で修了できない場合は、2年間の学費で3～4年間履修可能な「長期履修制度」を設けています。

3. 院生専用研究室や専門書が充実した図書館、国際交流の機会も提供します

休日・夜間も利用できる院生専用の研究室を完備。図書館には国内外の看護専門雑誌や研究論文データベースもあります。執筆した修士論文は、地域の専門職へ共有・活用。また、国際交流の機会も多く、グローバルな視点も養成します。

大学院 コース別の学び



修士論文コース

徹底した少人数教育により、看護師のキャリア形成を推進

臨床の現場で経験を積み重ねると、現場だけでは解決できない疑問や課題に直面し、改めて看護学を学び直す必要性に迫られることがあります。

修士論文コースでは、多様な目的を持って入学する院生に徹底した少人数教育を実施。院生は複数の教員による指導を受けつつ最新の論文や研究に触れ、自らの研究テーマを追究することで、これまでに得られなかった知見や発想力を獲得していきます。

大学院修了後の姿 看護実践者、看護教育者、
医療機関管理職、看護研究者

プライマリケア看護コース

高度な看護実践能力を備えた診療看護師（NP
[Nurse Practitioner]）を目指す

高齢者施設や慢性期病棟など医師不在の時間が存在する施設では、患者さんの症状に応じて診療看護師（NP）がタイムリーな診療を提供することで、重症化を防止し、生活の質を高めていくことができます。

自律的に診療行為を提供できる能力を持つ診療看護師の養成教育は、現在全国11校の大学院で行われており、佐久大学大学院はその一翼を担っています。本学で学べる特定行為は、高齢化が進む地域でとくに要望が高い10区分23行為。今後、地域の医療機関・施設において、診療看護師への期待がますます高まることは間違いありません。

大学院修了後の姿 診療看護師（NP）

進学相談会

大学院入試

2021年7月17日(土)
10～12時

I 期 2021年
10月9日(土)

2021年10月30日(土)
10～12時

II 期 2021年
12月25日(土)

2022年1月22日(土)
10～12時

III 期 2022年
2月19日(土)

お問い合わせ先

佐久大学入試広報課
〒385-0022 長野県佐久市岩村田2384
TEL 0267-68-6680
フリーダイヤル：0120-151-555
E-mail admission@saku.ac.jp



出願までの準備

【出願資格】

大学を卒業した方、学士の学位をお持ちの方は出願資格があります。

短期大学や専門学校を卒業した方は、本学での出願資格審査に通ると、出願資格を得られます。

【出願前面談】出願の前に、大学院研究科長と面談をします。

詳細は募集要項をご確認ください。



受験・進学準備

【受験科目】コースにより異なりますので、募集要項をご確認ください。

【事前準備】両コース共通として、小論文の練習をお勧めします。

これまでの看護経験を振り返り、気がかりや疑問を文章にしてみましょう。

「直接、大学院？」と心配な方へ

【科目等履修制度】

事前に「科目等履修生」の制度を用いると、大学院入学前に、一部の科目を履修できます。取得した科目は、入学後に既修得単位として認定できます。

いきなり進学するのは心配な方、働きながら科目を履修してみませんか？

詳細は募集要項をご確認ください。

【研究生】

事前に「研究生」の制度を用いることで、大学院入学前に研究の事前準備などを進めることができます。

詳細は募集要項をご確認ください。



修士論文コース 院生 中林 梓さん



佐久大学を卒業後、8年間がん看護や緩和ケアに携わりました。その中で「終末期にどのような医療や看護を受けたいか」という問いを患者さんに切り出すきっかけが難しく、後々まで悩むことに。そこで看護師がどのように切り出しているのか調査し、論文にまとめようと本コースに入学しました。

大学院では指導教員の先生から密な指導をいただき、私の長年の疑問に答えを得ることができました。このように理論と実践を結びつける場が大学院だと思います。

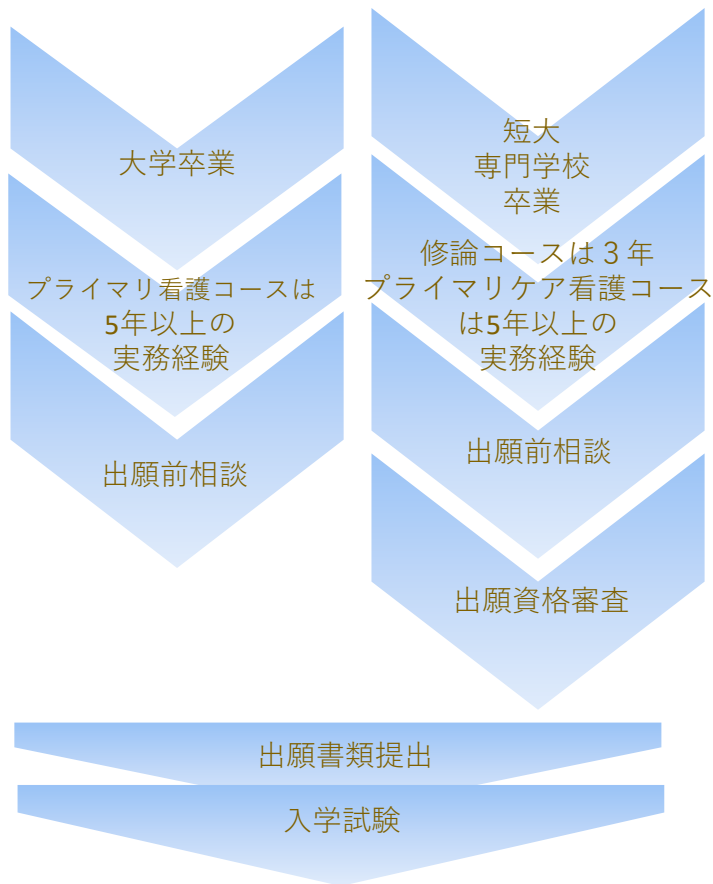
プライマリケア看護コース 修了生 山崎一真さん



もっとも印象に残っているのは、病院での臨床実習です。高度な技術や思考が求められ、とても緊張しましたが、指導医の先生方からのご指導や実習先のスタッフの方々からのサポートを受け、克服することができました。

また、診療看護師になるという同じ目標を持つ仲間と互いに高め合う日々は、普段の臨床経験では味わえない貴重な時間。診療看護師は新しい分野であり、自ら役割を開拓し、獲得していく看護職です。その過程を楽しみながら、地域住民の方々の安心安全で持続可能な生活を支える存在になりたいです。

受験準備から入学まで



経済面の支援について

- ・佐久大学大学院奨学金
 - ・長野県看護職員修学資金
 - ・日本学生支援機構：第一種奨学金の貸与を受けた方には、返還免除制度があります
 - ・修士論文コース：2021年度入学者から厚生労働省教育訓練給付金制度を利用できます
 - ・プライマリケア看護学コース：2022年度に向けて申請準備中です
- 詳細はご相談ください。